

ADAC イエローエンジェル賞を受賞 受賞車で際立つポツシュのテクノロジー ディーゼル燃料噴射システムと圧縮天然ガス

2013 年 2 月
PI 7999 RB Rg/af

- ▶ コモンレールシステム: BMW 520d EfficientDynamics Edition BluePerformance が「カー・オブ・ザ・フューチャー」部門を受賞
- ▶ CNG システム: フォルクスワーゲン eco up! に搭載された 3 気筒天然ガスエンジンが「イノベーション&環境」部門を受賞

ADAC(ドイツ自動車連盟)は先日、世界的に広く知られ、今年で 9 回目を迎える「イエローエンジェル」賞を発表し、ポツシュの革新的な燃料噴射テクノロジーを採用した車両 2 モデルが受賞しました。ポツシュのコモンレールシステムを装備した BMW 520d EfficientDynamics Edition BluePerformance は「カー・オブ・ザ・フューチャー」部門大賞を、フォルクスワーゲン eco up! は「イノベーションと環境」部門の「ベストイノベーション」賞を獲得しました。この eco up! に搭載された 3 気筒天然ガスエンジンはポツシュの噴射システムを採用し、天然ガスとガソリンの噴射量を制御しています。

環境に配慮した圧縮天然ガス(CNG)の推進

ポツシュはフォルクスワーゲンとともに、eco up! の 1.0 リッター 3 気筒エンジンに採用されている燃料噴射テクノロジーの開発に取り組んできました。このためにポツシュは、天然ガス/ガソリン用のエンジンマネジメントシステム、インジェクター、ガソリンレール、ラムダセンサーシステムと平均圧温度センサーを提供しています。このテクノロジーを搭載した車は、ガソリン、または CNG で走行することができ、エンジン出力は 50 kW (68 PS)/6,200 rpm、最大トルクは 90 Nm/ 3,000 rpm に達します。新ヨーロッパドライビングサイクル(NEDC)では、eco up! はわずか 2.9 kg の天然ガスで 100 km を上回る走行距離を実現していますが、これは CO₂ 排出量に換算すると、1 km あたり 79 g に相当します。天然ガスの燃焼の場合、CO₂ 排出量をガソリンよりも最大 25% 削減できるため、燃料としての CNG は、特に環境に与える影響が少なく、車両の CO₂ 排出量をバイオガスよりもさらに抑えることができます。また、天然ガスエンジンの効率とパワーをよりいっそう向上させるために、ターボチャージング技術と組み合わせた別のダウンサイジング手法もポツシュはすでに実現しています。

ボッシュのディーゼル燃料噴射技術が実現するダイナミックで滑らかな走り

「イエローエンジェル」賞は、BMW 520d EfficientDynamics Edition BluePerformance にも授与されました。「カー・オブ・ザ・フューチャー」部門を受賞したこのモデルは、ボッシュの CRS2-18 コモンレール噴射システムを搭載しています。噴射圧が 1,800 bar のこのシステムはノイズと振動がかなり抑えられており、4 気筒ディーゼルエンジンのドライビングダイナミクスの向上に大きく寄与しています。このエンジンは NEDC では 100 km あたりの平均燃費はわずか 4.5 リッターで、135kW (184 PS) を発生し、CO₂ の排出量は、1 km あたり 119 g となります。さらに、燃費を低く抑えるために、ホイールのリムのスリム化、転がり抵抗を抑えたタイヤの採用、リヤアクスルの回転率の調整、シフトポイント表示の最適化など、さまざまな手法でエンジン周りの調整も行われています。

ドイツ自動車連盟 (ADAC) から毎年授与される「イエローエンジェル」賞は自動車部門で最も権威ある賞の 1 つとされ、メーカーやサプライヤーはこの賞を受賞するために競い合っています。なお、この「イエローエンジェル」賞には「自動車」、「イノベーション & 環境」、「フューチャー」、「品質」、「パーソナリティ」の計 5 つの部門が設けられています。

広報担当窓口:

Udo Rügheimer 電話: +49 711 811-6283

ボッシュ・グループは、グローバル規模で革新のテクノロジーとサービスを提供するリーディング・カンパニーで、自動車機器テクノロジー、エネルギー・建築関連テクノロジー、産業機器テクノロジー、消費財テクノロジーの4つの事業エリアで活動をしています。

速報値では2012年度の従業員数は30万6000人以上、売上高は523億ユーロを計上しています。ボッシュ・グループは、ロバート・ボッシュ GmbH とその子会社 約350社、世界約60カ国にあるドイツ国外の現地法人で構成されており、販売、サービス代理店のネットワークを加えると、世界約 150カ国で事業展開していることとなります。この開発、製造、販売、サービスのグローバル・ネットワークが、ボッシュのさらなる成長の基盤となっています。

なおボッシュでは2012年に約45億ユーロにもおよぶ金額を研究開発に投じ、さらに全世界で4,700件以上もの国際特許の基礎特許 (第一国出願) を出願しています。

ボッシュ・グループの製品とサービスは、革新的で有益そして魅力的なソリューションを提供することを通して、人々の生活の質 (Quality of Life) を向上することを目的としています。この方針に基づきボッシュは全世界においてテクノロジーを提供しています。それこそが "Invented for life" です。

ボッシュの起源は、1886 年に創業者ロバート・ボッシュ (1861~1942) がシュトゥットガルトに設立した「精密機械と電気技術作業場」に遡ります。ロバート・ボッシュ GmbH の独自の株主構造は、ボッシュ・グループの財務上の独立性と企業としての自立性を保証するものです。「株主 (利益配当)」と「経営 (議決権)」が完全に分離した、この企業形態によって、ボッシュは長期的な視野に立った経営を行い、将来の成長を確保する重要な先行投資を積極的に行うことができます。

ロバート・ボッシュ GmbH の株式の大半は非営利組織である公益法人「ロバート・ボッシュ財団」(持株比率92%、議決権なし) が保有しています。議決権の大半は、株主の事業機能実行機関である共同経営者会「ロバート・ボッシュ工業信託合資会社」(議決権 93%) が保有しています。残りの株式と議決権は創業者であるボッシュ家 (持株比率 7%、議決権 7%) とロバート・ボッシュ GmbH (持株比率1%、議決権なし) が保有しています。

さらに詳しい情報は www.bosch.com ボッシュ・グローバル・ウェブサイト (英文) www.bosch-press.com ボッシュ・メディア・サービス (英文) を参照してください。